

児童発達支援センターすくすくがーでん 支援プログラム

作成日 2025. 3. 1

事業所理念 共に学び、共に育ち合う ～親も子ども先生も～

支援方針 ご家族の思いに寄り添い、一人ひとりの子どもを考え、療育支援の提供を行う

営業時間 9:00～15:30 (休園日 土・日・祝日、年末年始)

クラス名		かるがも	ももんが	ぺんぎん	午後クラス
対象児童		幼児期前期（基本2歳児～3歳児）理解（知的）や行動面に課題のある児童	4歳児～5歳児、幼稚園保育園に通っている理解（知的）や行動面に課題のある児童	3歳児～5歳、身辺自立やコミュニケーション、生活スキルの獲得を課題とし、基本的に毎日通う児童	基本4～5歳児（場合によっては3歳児含む）幼稚園保育園が終わった後に通う理解（知的）や行動面に課題のある児童
療育提供時間		9:30～13:30	9:30～13:30	9:30～13:30	14:00～15:30
利用形態		親子登園	親子登園または単独登園	親子登園または単独登園	親子登園
送迎		送迎なし	送迎なし	送迎地区対象者（毎日登園の児童）には送迎あり	送迎なし
支援内容					
本人支援	健康・生活	定期健診 身体測定 基本的な生活習慣の獲得 給食の提供 生活リズム調査の実施			
	運動・感覚	感覚遊具を使用した遊びの提供 遊戯室での粗大運動 屋外活動 音楽療法士による感覚運動を取り入れた活動の提供			
	認知・行動	様々な活動を提供し、興味や意欲を引き出していく（園庭遊び、体操、感覚遊具、読み聞かせ、音楽リズム、描画、感触遊び等）			
	言語コミュニケーション	活動の中で自身の気持ち、要求や拒否を人に伝える手段、コミュニケーション力を獲得していく。安心できる環境の中で自己表現を行う。活動の流れやルールなど受け入れたり、対応する力をつけていく。			
	人間関係・社会性	小集団で集団経験を積み、他児者との関わりを学んでいく。 活動の流れに乗る。気持ちをコントロールする。ルールや順番など理解していく。指示や活動を理解して自ら行動できるようにしていく。自分の気持ちを相手に伝える。			
家族支援		親子登園を実施し、情報を共有し、いつでも話のできる体制を取る。家族の不安や困りごとへの相談や支援を行い、必要な情報提供を行う 保護者同士話ができる機会の提供 個別面談 保護者対象勉強会の開催			
移行支援		年齢に応じた経験をできるよう、必要な支援や合理的配慮を提供していく 散歩（地域の公園）や公的機関への園外保育（公民館等）などを 通じて社会参加の場を広げていく。就学についてや学校見学などの情報提供などを行っていく。			
地域連携・地域支援		併行利用先の幼稚園や保育園と情報を共有する。関係機関との連携や関係者支援会議等に参加。行政や関わりのある施設との情報共有。			
職員の質の向上		外部研修や内部研修を通じ、技術や知識の取得を行う（特性や障害の理解、虐待、人権、発達支援等）			
主な行事等		遠足 夏祭り 運動会 ハロウィン クリスマス会 発表会 卒園式 等 保護者懇談会 保護者勉強会			